

(報道発表資料)

2026 年 1 月 30 日

NTT 西日本株式会社 富山支店

氷見市と NTT 西日本富山支店、災害時の相互連携強化に向けた防災協定を締結

～能登半島地震の教訓を踏まえ、迅速な情報共有と通信復旧体制を構築～

NTT 西日本株式会社富山支店（支店長：瓜生 知史、以下「NTT 西日本」）は、氷見市（市長：菊地 正寛）と地域の防災力強化および災害時の迅速な通信復旧体制の構築を目的として、「災害時における相互連携に関する協定（以下、本協定）」を、2026 年 1 月 30 日(金)に締結いたしました。



左から、氷見市長 菊地 正寛、NTT 西日本富山支店 瓜生 知史（敬称略）

1.背景・目的

2024 年 1 月 1 日「令和 6 年能登半島地震」では、富山県内を含む北陸地域においても強い揺れが観測され、道路や建物の損壊、通信・電力・上下水道など生活インフラへの影響が広範囲に及びました。さらに、同年には局地的な豪雨や台風等による災害も相次ぎ、今後も地震・豪雨・洪水・積雪など、複合的な災害リスクへの備えが一層重要となっています。

氷見市においては、こうした災害に備え、市民の生命・財産を守るため、防災体制の強化や関係機関との連携による迅速な初動対応、復旧体制の構築に取り組んでいます。

特に、災害時における正確かつ迅速な情報共有と、通信インフラの早期復旧は、避難情報の伝達、災害対応の指揮・調整、市民生活の早期安定に不可欠な要素です。

また、NTT 西日本においては、能登半島地震を含む過去の災害対応において、通信サービスの早期復旧や被災地支援に取り組むとともに、自治体との連携を通じた防災・減災の取り組みを進めてきました。今後はさらに通信事業者としての知見や現地対応力を活かし、災害発生時のみならず平常時から自治体と連携し、地域全体の総合的な防災力強化に貢献することが求められています。

このような背景を踏まえ、氷見市と NTT 西日本は、災害時における実効性の高い相互連携体制をあらかじめ構築し、「災害情報の状況共有の迅速化」、「通信設備復旧に向けた円滑な調整」、「平常時からの情報交換および訓練の実施」を通じて、地域の防災力強化と災害時の迅速な通信復旧体制の構築を図ることを目的として、本協定を締結する運びとなりました。

2.協定の主な内容

(1) 災害時の情報共有の迅速化

災害発生時における氷見市・NTT 西日本双方の状況情報の共有体制を確立し、迅速な対応を図る

(2) 災害時の通信インフラの確保・復旧支援

被災地域における通信設備の早期復旧に向けて、技術的支援および必要な調整を行う

(3) 平常時の防災訓練の協力

災害対応体制の強化を図るため、情報交換および訓練を平時から実施する

3.協定締結日

2026 年 1 月 30 日(金)

4.役割分担

氷見市	・被害状況（道路通行止め、土砂崩落、積雪障害等）に関する情報の収集および提供 ・災害復旧活動に必要な道路啓開の協力および拠点・資機材置場・駐車場・仮眠場所等の確保に関する支援
NTT 西日本	・パトロール等で把握した倒木、土砂崩れ、道路上の危険箇所等に関する情報の収集および提供 ・災害対策の中核となる自治体、医療機関、避難所等への 電気通信設備の復旧を可能な限り優先した対応

5.今後の展開について

本協定締結後も、継続した対話と連携により、地域の防災力強化に向けた具体的な取り組みを検討・実施してまいります。

また、災害時には協定内容に基づき、氷見市・NTT 西日本双方で柔軟かつ迅速な危機対応を行います。

※ニュースリリースに記載している情報は、発表日時点のものです。変更になる場合がありますので、あらかじめご了承くださいとともに、ご注意をお願いいたします。